

## 全体集会閉会の挨拶

米原俊夫（生活協同組合コープなごの理事長）



長時間に渡りまして、この全体会にご参加いただきました。本当にお疲れ様でございました。

本日、1,203名の皆様にご出席を頂いております。ご報告申し上げますと共に、心から御礼を申し上げます。

またお忙しい中、大変貴重な示唆に富んだお話しを頂きました。講師の皆様方、本当にありがとうございました。

少子化、高齢化を初めとして、私たちの社会全体が大きく様変わりし、暮らしに与える変化も様々なものが広がって来ています。暮らしをしていく上での要求のほとんどを共通に括れた時代ではなくなり、多様化、多層化してきているのではないかと思います。そんな中で私たちの協同活動も変化への対応が求められています。協同活動に参加する者として、そのことをしっかりと受け止めていくこ

とが重要になっているのではないかと考えているところです。

そもそも私たちは、一人で生きていくことは出来ませんし、生まれてくることも出来ません。死んでいくことだって一人では出来ないと思います。人は沢山の人の手や力を借りて生きています。貸し借りをし合って生きているのが現実だと思います。しかしそのことが非常に見えにくくなっているのも事実ではないでしょうか。

そんな中であるからこそ、協同を育む私たちの取り組みが、一層重要になっていると思います。

明日は14の分科会が予定されています。全国各地で様々な形で協同の実践をされる皆様方が、お互いの活動を通じてその意味を学び合い、以降の活動に生かして行く、そんな場になればと念願をしています。

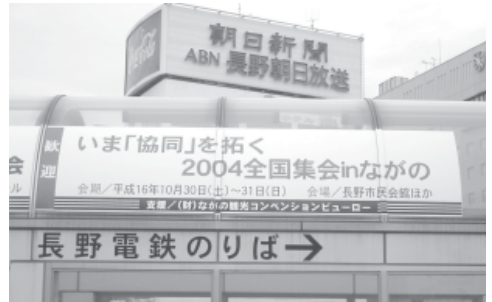
引き続き皆様方のご協力を心からお願い申し上げます。大変簡単でございますが全体集会閉会のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



# 集会当日 アラカルト



タクシーにもステッカー



長野駅前の看板



物品販売コーナー (市民会館)



新潟県中越地震への義援金コーナー



新聞での報道  
(信濃毎日新聞 10/31)



講師の方々と



全体集会の司会のお二人  
(村上盟さん(左)、相沢早苗さん(右))

